

市民満足度調査

結果報告

—概要版—

令和元年 9 月

小 矢 部 市

目 次

I 調査の概要	
1 令和元年度小矢部市「市民満足度調査」実施要領.....	1
2 回答者の内訳.....	2
II 調査結果の概要	
○第7次総合計画に掲げた政策ごとの「満足度」及び「重要度」について.....	4
○政策ごとにみる「重要度」と「満足度」との関係.....	7
○小矢部市に対する総合的な「満足度」について.....	9
○自由意見.....	11
III 使用した調査票.....	18

— この冊子の見方 —

図表中の回答比率は百分率で示し、小数点第2位を四捨五入した。
したがって百分比が100%とならない場合や超える場合がある。

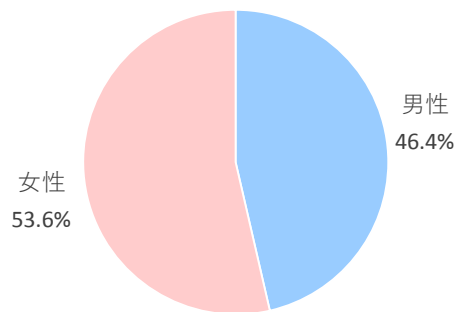
I 調査の概要

1 令和元年度小矢部市「市民満足度調査」実施要領

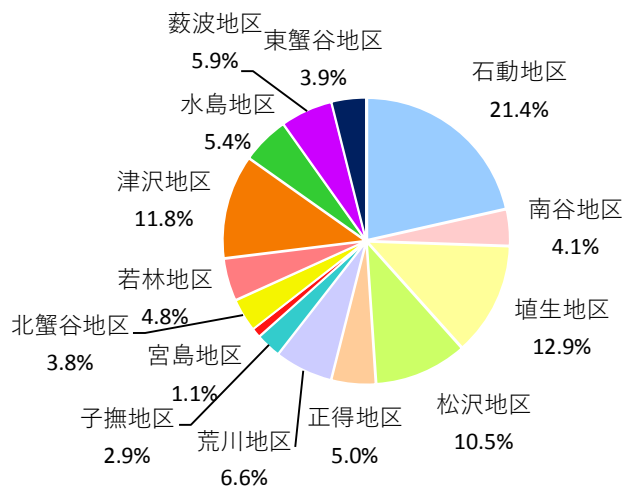
- (1) 目的 小矢部市に住んでいる市民が、市政の現状についてどのような満足感を持っているかを把握することにより、市民ニーズに対応した市政運営を目指す。
- (2) 対象者 18歳以上の市民から無作為に1,300人を抽出した。ただし、年代別分析を一定程度重視するため、過年度の年代別回収率を参考に、各年代の配布対象者数を決定した。
- (3) 調査基準日 令和元年7月1日(月)
- (4) 回答期限 令和元年7月16日(火)
※調査結果分析は、令和元年7月29日(月)までの返信分を対象とした。
- (5) 調査方法 郵送で調査票を配布し、郵送又はインターネットで回答する方法で実施した。
- (6) 調査項目 第7次小矢部市総合計画に基づき、各種政策の満足度及び重要度並びに小矢部市に対する総合的な満足度等を調査する。
- (7) 活用方法 市民の満足度を評価指標として、第7次小矢部市総合計画における政策目標の達成状況を検証し、今後の行政運営に役立てる。
- (8) 結果の公表 広報及びホームページにて公表する。
- (9) 実施機関 小矢部市企画政策部企画政策課

2 回答者の内訳

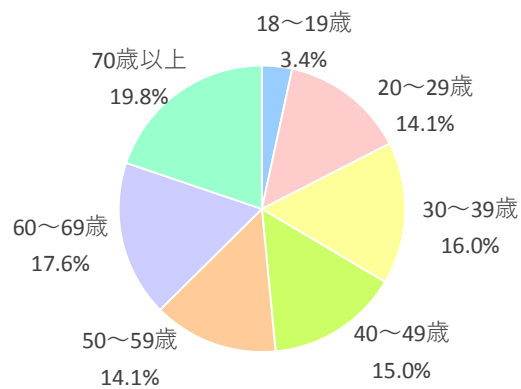
(1) 性別



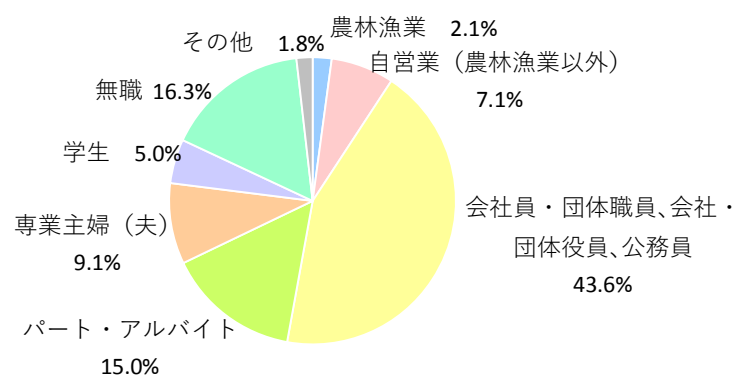
(2) 居住地区



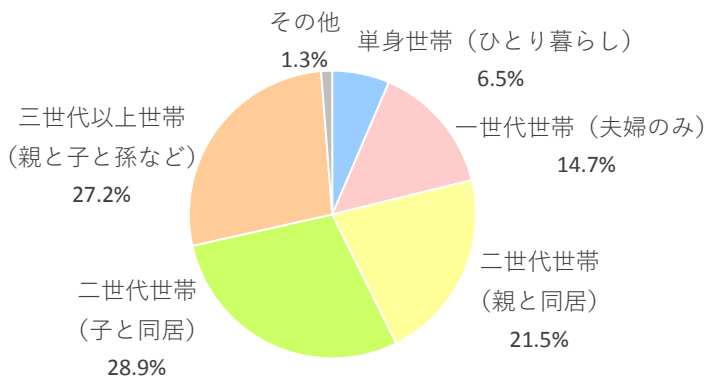
(3) 年齢



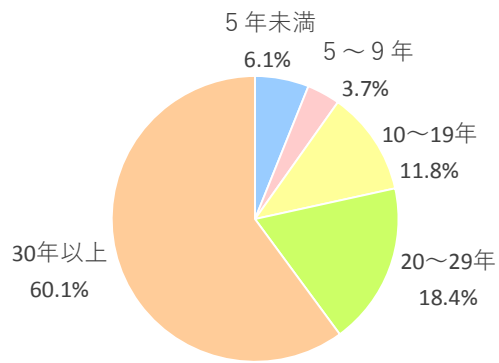
(4) 主な職業



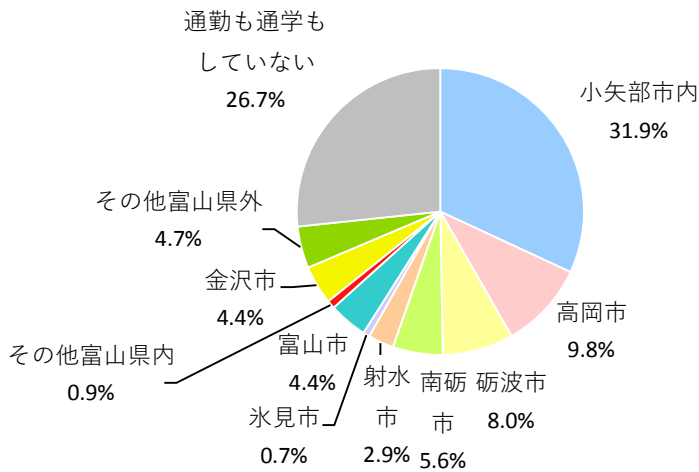
(5) 現在の世帯構成



(6) 小矢部市居住の通算年数



(7) 通勤・通学先



II 調査結果の概要

○第7次総合計画に掲げた政策ごとの「満足度」及び「重要度」について

●「満足度」の高い政策及び「満足度」の低い政策

・全体にみる「満足度」の高い政策及び「満足度」の低い政策（上位10政策）

「第7次小矢部市総合計画」に掲げた43の政策に対し、現状の満足度について聞いた。「満足度」について「高い」及び「やや高い」と回答のあったものを「満足度」が高いと分類するとともに、「やや低い」及び「低い」と回答のあったものを「満足度」が低いと分類し、全ての回答に対する割合として示した。

「満足度」の高い政策は「⑳生活環境の保全」が44.7%で1位であり、次いで「⑨上下水道の整備」が43.6%、「㉑消防・救急体制の充実」が36.7%である。前回調査*と比較すると「㉒就学前教育・保育の充実」が11位から6位と順位を上げている。

一方、「満足度」の低い政策は「④中心市街地の活性化」が51.5%で1位であり、次いで「②商工業の振興」が50.5%、「㉓交通体系の充実」が43.3%である。前回調査と比較すると「㉔雪に強いまちづくりの推進」が27位から9位と順位を上げている。

なお、「㉔雪に強いまちづくりの推進」は「満足度」の高い政策で5位、「満足度」の低い政策で9位になっており、満足度が両極化している。

図表1 全体にみる「満足度」の高い政策及び「満足度」の低い政策

順位	「満足度」の高い政策	割合	順位	「満足度」の低い政策	割合
1位	⑳生活環境の保全	44.7%	1位	④中心市街地の活性化	51.4%
2位	⑨上下水道の整備	43.6%	2位	②商工業の振興	50.4%
3位	㉑消防・救急体制の充実	36.7%	3位	㉓交通体系の充実	43.3%
4位	㉒学校教育の充実	33.8%	4位	⑭観光の振興	42.8%
5位	㉔雪に強いまちづくりの推進	33.5%	5位	⑤企業立地の促進	38.8%
6位	㉒就学前教育・保育の充実	31.6%	6位	⑦魅力ある市街地等の形成	36.4%
7位	㉕交通安全対策の充実	30.4%	7位	⑮地域間・国際交流の推進	35.3%
8位	㉖生涯スポーツの促進	29.3%	8位	③地域ブランドの振興	33.6%
9位	㉗開かれた市政の推進	28.9%	9位	㉔雪に強いまちづくりの推進	32.8%
	㉘歴史遺産・文化財の保存と活用	28.9%	10位	⑯移住・定住の促進	32.7%
	㉙地域医療体制の充実と健康づくりの推進	28.9%			

* 前回調査：平成29年度市民満足度調査をいう。この調査では、第6次小矢部市総合計画の各種政策の満足度及び重要度並びに総合的な満足度を調査している。今回の調査結果では、第6次総合計画での政策名の分類と大きな変更がない項目については、前回調査との比較を行った。

●「重要度」の高い政策及び「重要度」の低い政策

・基本目標ごとにみる「重要度」の高い政策及び「重要度」の低い政策（上位3政策）

「第7次小矢部市総合計画」に掲げた43の政策に対し、まちづくり基本目標ごとに重要度の高い政策を聞いた。基本目標ごとの全ての回答に対する割合として示した。

「重要度」が高い政策は、基本目標1が「④中心市街地の活性化」、基本目標2が「⑩移住・定住の促進」、基本目標3が「⑩雪に強いまちづくりの推進」、基本目標4が「⑩持続可能な自治体経営の確立」、基本目標5が「⑩学校教育の充実」、基本目標6が「⑩高齢者福祉の充実」である。前回調査と同様に「⑩雪に強いまちづくりの推進」、「⑩持続可能な自治体経営の確立」、「⑩学校教育の充実」は重要度が高い。

「重要度」が低い政策は、基本目標1が「③地域ブランドの振興」、基本目標2が「⑩地域間・国際交流の推進」、基本目標3が「⑩豊かな森の保全・活用」、基本目標4が「⑩男女共同参画社会の推進」、基本目標5が「⑩芸術・文化の振興」、基本目標6が「⑩地域ぐるみ福祉の充実」である。前回調査と同様に「⑩地域間・国際交流の推進」、「⑩豊かな森の保全・活用」、「⑩男女共同参画社会の推進」、「⑩芸術・文化の振興」は重要度が低い。

図表2 基本目標1の「重要度」の高い政策及び「重要度」の低い政策

＜まちづくりの基本目標1 魅力あふれる産業と経済活力のみなぎるまち＞

順位	「重要度」の高い政策	割合	順位	「重要度」の低い政策	割合
1位	④中心市街地の活性化	28.3%	1位	③地域ブランドの振興	6.3%
2位	⑥雇用の安定	22.0%	2位	①農業・農村の振興	6.5%
3位	②商工業の振興	20.3%	3位	⑤企業立地の促進	16.7%

図表3 基本目標2の「重要度」の高い政策及び「重要度」の低い政策

＜まちづくりの基本目標2 人をよびこむ都市空間と多彩な交流でにぎわうまち＞

順位	「重要度」の高い政策	割合	順位	「重要度」の低い政策	割合
1位	⑩移住・定住の促進	30.0%	1位	⑩地域間・国際交流の推進	2.7%
2位	⑩交通体系の充実	19.5%	2位	⑨上下水道の整備	3.6%
3位	⑦魅力ある市街地等の形成	13.7%		⑩公園・緑地の充実	3.6%
				⑩地域情報化の推進	3.6%

図表4 基本目標3の「重要度」の高い政策及び「重要度」の低い政策

＜まちづくりの基本目標3 未来にやさしい環境と安全安心に暮らせるまち＞

順位	「重要度」の高い政策	割合	順位	「重要度」の低い政策	割合
1位	⑩雪に強いまちづくりの推進	23.5%	1位	⑩豊かな森の保全・活用	3.8%
2位	⑩防災・危機管理体制の充実	21.1%	2位	⑩消防・救急体制の充実	5.5%
3位	⑩犯罪をおこさせないまちづくりの推進	18.4%	3位	⑩交通安全対策の充実	5.7%

図表 5 基本目標4の「重要度」の高い政策及び「重要度」の低い政策

<まちづくりの基本目標4 市民と行政が協働して自治体経営を支えるまち>

順位	「重要度」の高い政策	割合	順位	「重要度」の低い政策	割合
1位	㉨持続可能な自治体経営の確立	57.1%	1位	㉦男女共同参画社会の推進	8.3%
2位	㉥市民と行政との協働の推進	16.7%	2位	㉧開かれた市政の推進	8.8%
			3位	㉧人権の尊重	9.0%

図表 6 基本目標5の「重要度」の高い政策及び「重要度」の低い政策

<まちづくりの基本目標5 人をすこやかにはぐくむ教育と歴史文化がいきづくまち>

順位	「重要度」の高い政策	割合	順位	「重要度」の低い政策	割合
1位	㉩学校教育の充実	53.4%	1位	㉫芸術・文化の振興	3.8%
2位	㉪生涯にわたる学習活動の推進	15.1%	2位	㉭歴史遺産・文化財の保存と活用	5.7%
3位	㉩青少年の健全育成	12.4%	3位	㉫生涯スポーツの促進	9.5%

図表 7 基本目標6の「重要度」の高い政策及び「重要度」の低い政策

<まちづくりの基本目標6 心がやすらぐ健康とあたたかな福祉で支え合うまち>

順位	「重要度」の高い政策	割合	順位	「重要度」の低い政策	割合
1位	㉫高齢者福祉の充実	21.3%	1位	㉩地域ぐるみ福祉の推進	3.6%
2位	㉬妊娠・出産・子育て支援の充実	20.2%	2位	㉭障害者及び障害児福祉の充実	3.8%
3位	㉩社会保障の充実	18.9%	3位	㉫就学前教育・保育の充実	5.0%

○政策ごとにみる「重要度」と「満足度」との関係

重要度と満足度のそれぞれについて平均値（0.0）からのばらつきを指数化し、重要度と満足度との関係を4分類化したのが図表8である。

この図表はCS（顧客満足度）ポートフォリオ分析とも呼ばれ、「満足度」と「重要度」からマッピングし「優先的改善項目」を把握する分析手法で、A：重点維持項目、B：重点改善項目、C：維持項目、D：改善項目を確認、評価するために幅広い分野で活用されている。満足度を横軸に、重要度を縦軸にし、現在の小矢部市の進むべき方向性を分析したものである。

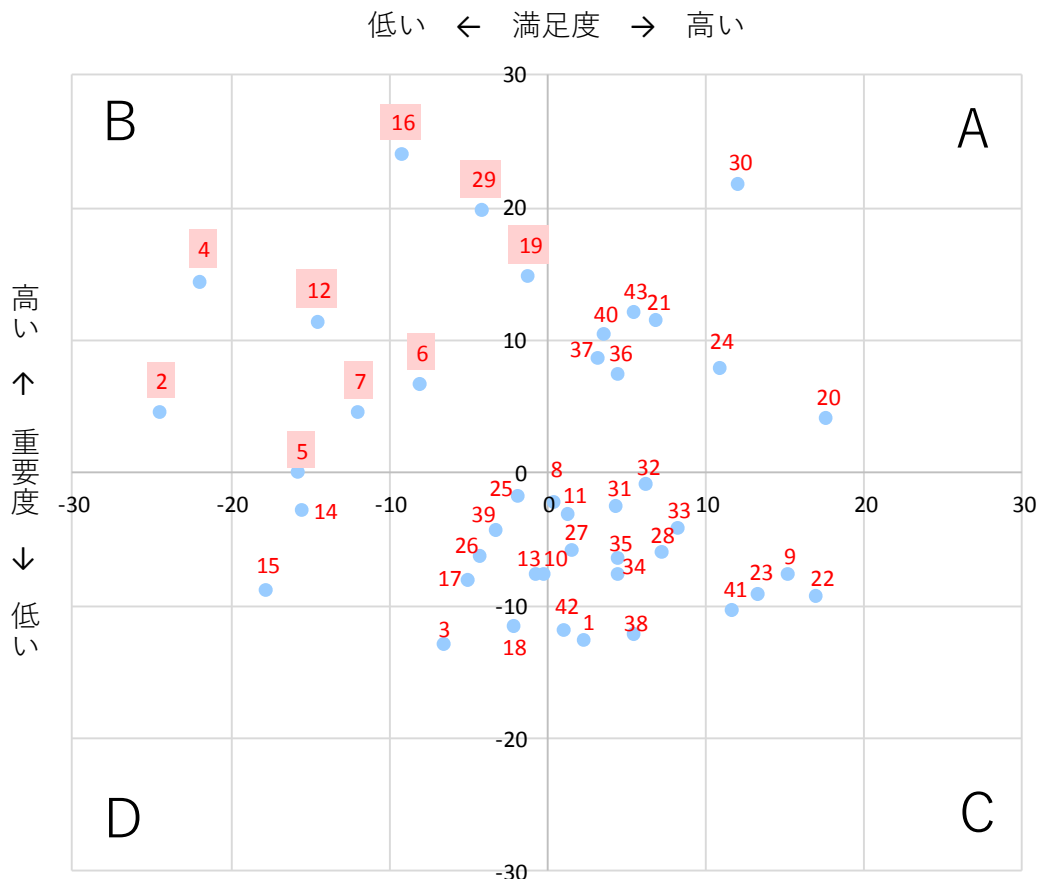
A=重点維持項目…重要度も満足度も高い項目。現時点での満足度の源泉と考えられ、引き続き満足度を下らないようにする必要がある。

B=重点改善項目…重要度が高いのに満足度が低い項目。総合満足度を上げるために最優先で改善しなければならない。

C=維持項目…満足度は高いが、あまり総合評価に起因しない項目。現状を維持する。

D=改善項目…総合評価への影響は少ないが、満足度が低い項目。重点改善項目の次に改善を必要とする。

図表 8 重要度と満足度の関係



A：重要度、満足度とも高い政策

- ⑳生活環境の保全 ⑳防災・危機管理体制の充実 ㉔犯罪をおこさせないまちづくりの推進
⑳学校教育の充実 ㉔地域医療体制の充実と健康づくりの推進 ㉔社会保障の充実
㉔妊娠・出産・子育て支援の充実 ㉔高齢者福祉の充実

B：重要度が高く、満足度が低い政策

- ②商工業の振興 ④中心市街地の活性化 ⑤企業立地の促進 ⑥雇用の安定
⑦魅力ある市街地等の形成 ⑫交通体系の充実 ⑯移住・定住の促進
⑲雪に強いまちづくりの推進 ㉑持続可能な自治体経営の確立

C：重要度が低く、満足度が高い政策

- ①農業・農村の振興 ⑧道路ネットワークの充実 ⑨上下水道の整備 ⑪住宅・宅地の充実
⑫消防・救急体制の充実 ⑬交通安全対策の充実 ⑰人権の尊重 ⑲開かれた市政の推進
⑳青少年の健全育成 ㉒生涯にわたる学習活動の推進 ㉒生涯スポーツの促進
㉒芸術・文化の振興 ㉒歴史遺産・文化財の保存と活用 ㉒地域ぐるみ福祉の推進
㉒就学前教育・保育の充実 ㉒障害者及び障害児福祉の充実

D：重要度、満足度とも低い政策

- ③地域ブランドの振興 ⑩公園・緑地の充実 ⑬地域情報化の推進 ⑭観光の振興
⑮地域間・国際交流の推進 ⑰地球温暖化防止活動の推進 ⑱豊かな森の保全・活用
⑲市民と行政との協働の推進 ㉑男女共同参画社会の推進 ㉑結婚支援の推進

※下線部は前回調査と同様の分類となったもの。

4 分類の中で本市が最優先に対応すべき対策は、「B：重要度が高く、満足度が低い政策」である。

具体的には、《産業・経済》分野では「②商工業の振興」、「④中心市街地の活性化」、「⑤企業立地の促進」、「⑥雇用の安定」、《都市基盤整備・交流》分野では「⑦魅力ある市街地等の形成」、「⑫交通体系の充実」、「⑯移住・定住の促進」、《環境・安全安心》分野では「⑲雪に強いまちづくりの推進」、《市民・行政協働の自治体経営》分野では「㉑持続可能な自治体経営の確立」となっている。

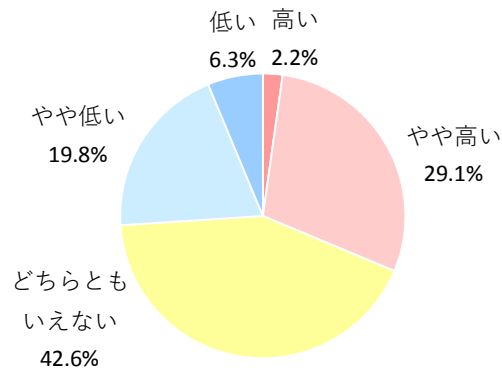
なお、「A：重要度、満足度とも高い政策」に関しては政策として強みがあり、継続的に取組みを行なう必要がある。

○小矢部市に対する総合的な「満足度」について

小矢部市に対する総合的な「満足度」を全体で見ると、「高い」（「高い」、「やや高い」計）が 31.3% を占め、一方、「低い」（「やや低い」、「低い」計）が 26.1% を占める。また、「どちらでもない」の割合が最も高く 42.6% である。

前回調査と比べ、「高い」の割合が 40.4% から 31.3% に 9.1 ポイント、「低い」の割合が 42.6% から 26.1% に 16.5 ポイントそれぞれ減少しており、「どちらともいえない」が増加している。

図表 9 小矢部市に対する総合的な「満足度」

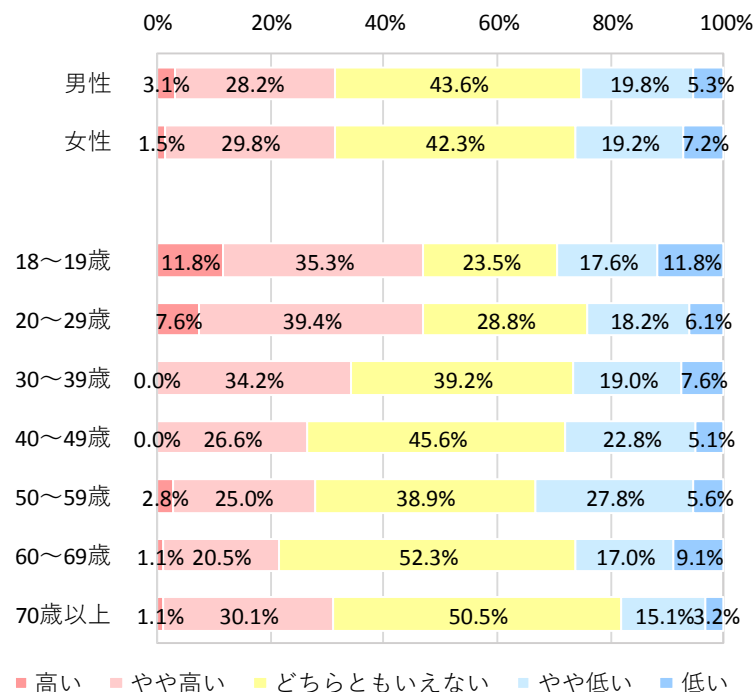


性別にみると、男性も女性も「高い」（「高い」、「やや高い」計）が31.3%、「低い」（「やや低い」、「低い」計）が男性は25.1%、女性は26.4%、「どちらともいえない」が男性は43.6%、女性は42.3%と同様の傾向にある。前回調査と比べ、「低い」の割合が男性は40.5%から25.1%に15.4ポイント、女性は44.4%から26.4%に18ポイント減少している。

年代別にみると、満足度の「高い」の割合は20代以下が最も高く47.1%であり、年代が上がるに伴ない満足度の「高い」の割合が低くなり、60～69歳で21.6%であるが、70歳以上で回復し、満足度の「高い」の割合が31.2%を占める。年代別の傾向は、前回調査と同様の傾向にある。

なお、前回調査と比べ、ほとんどの年代で「高い」割合が減少する中、20～29歳のみ43.6%から47.0%に3.4ポイント増加しており、「低い」の割合も20～29歳が最も減少しており、47.8%から24.2%に23.6ポイント減少している。

図表 10 属性別（性別・年代別）小矢部市に対する総合的な「満足度」



○自由意見

今回の調査において、286件の意見や要望などを回答者からいただき、下表の12分類にまとめた。(重複等を除く。)

1 市政全般について

年齢	居住地区	市への意見・要望
20～29歳	北蟹谷	子供達の未来が明るくなるような町づくりをお願いしたい。
20～29歳	荒川	もう少し高齢者が住みやすい街にしてほしい。子育てはしやすい。
20～29歳	藪波	働き世代に目を向けないと、高齢者ばかりのまちになる。そのしわよせが、働き世代、市政への圧迫になりかねない。
20～29歳	石動	これからも、安心して落ち着いて暮らせる町であり続けてほしい。
20～29歳	若林	小矢部市単独では全てを満足させるようにもっていくには正直難しいと思う。(財政的にも)周辺の小矢部市と広域的な連携も取り入れた考え方も重要ではないか。
30～39歳	埴生	どこかの市でやっている事例ばかり追いかけるのではなく、小矢部市独自のアイディアを目指してほしい。人が注目する場所は、みんな新しい視点で動いている人ばかり。
30～39歳	南谷	何をするにも中途半端という印象が否めない。メルヘン、アウトレット、義仲と巴御前等々、何か一つに絞るなり集中的に力を入れるなりしないと機を逃しそうな気がする。
40～49歳	津沢	古いしきたり、前例にとらわれず自由な発想で小矢部市を住みやすく盛り上げてほしい。
40～49歳	津沢	10代、20代の意見をうまく取入れてほしい。
60～69歳	津沢	本当に少しずつでいいので、住み良さ(漠然としているが)を向上させてほしい。今後の世の中の大きな変化にあわてないように!
60～69歳	石動	アウトレット誘致は小矢部には珍しい大胆発想だったと思う。今後とも大きな夢を描ける施策を続けてほしい!

2 商業施設、市街地活性化について

年齢	居住地区	市への意見・要望
18～19歳	荒川	空き地の広いところにスーパーや飲食店をつくってほしい!
20～29歳	石動	娯楽施設を充実してほしい。アウトレットパークは素晴らしいがいわゆるゲームセンターやカードショップと言った若者向けの娯楽施設が少ないため市内にお金を落とさない。
20～29歳	津沢	津沢地区にスーパーマーケットを誘致して欲しい。
20～29歳	藪波	高齢化により車の運転が困難になってきている方が増えてきているので、少しでも近い場所で食料や生活用品が一度に揃えられる場所が欲しい。
20～29歳	石動	買い物が不便でもっとスーパーや薬局、そしてコンビニやATMも少ないのもっと増やしてほしい。
30～39歳	埴生	クロスランド付近に親子連れや若者が集まる場所と飲食店を作ればいい。
40～49歳	石動	中心市街地の発展を希望します。

年齢	居住地区	市への意見・要望
40～49歳	石動	アウトレットのそばに大きな本屋を誘致したらどうか。
40～49歳	津沢	お店（買い物や娯楽、働き口）が少ないため、他の市を利用することが殆どである。出かける場所が少なく色々なお店を呼び込んで欲しい。定住する魅力が、コレといったものがない。
40～49歳	石動	メジャーな飲食チェーン店を誘致していただきたい。
40～49歳	松沢	小矢部には宿泊施設が少ないと思う。金沢で泊まる所がなく高岡へ観光の人が泊まる話をよく聞くので小矢部にあれば泊まる人も増えるのではないかと思う。
50～59歳	南谷	アウトレット周辺をもっとにぎやかにしてほしい。北陸初 I K E A とか良い。
50～59歳	荒川	福岡 I C から桜町にかけてもっと商業施設を充実してほしい。全国から来ても魅力ある街に。
60～69歳	石動	駅南口付近のレストランやコンビニ等の誘致。
60～69歳	埴生	アウトレットからどのように小矢部市内に入り込ませるかプランが見えない。
70歳以上	水島	高齢者が買い物するにもスーパーが無い。

3 企業誘致、雇用対策について

年齢	居住地区	市への意見・要望
20～29歳	埴生	アウトレットに頼りすぎている。他の雇用がない。
50～59歳	石動	もっと再生可能エネルギー（地熱、温泉）を利用した地産地消、雇用も含めた開発を望む。
60～69歳	津沢	何事においても若者が小矢部市に魅力を感じ、定着率の向上に努力していただきたい。たとえば企業の誘致で小矢部市外の流出防止。
70歳以上	石動	企業誘致の推進に力を入れてほしい。
70歳以上	埴生	若者が定住できる企業が少ない。
70歳以上	若林	新幹線開通したとき、富山の市町は観光面で金沢と張り合わないで産業で頑張ると言っていた。小矢部も人口の絶対数も少なく、企業誘致をして外部からも人口を呼び寄せて活気ある市になればいい。

4 道路・上下水道など都市基盤の整備について

年齢	居住地区	市への意見・要望
20～29歳	藪波	駅前の開発がもっと進めばよいと思う。
30～39歳	埴生	クロスランドでたまに子供を遊ばせているが、家の近くにも子供が安心して楽しく遊べる公園があると助かる。
30～39歳	荒川	のんびりとしたまちの雰囲気の中で駅も整備され少しずつニーズに応じて新しくなっていることが嬉しい。
30～39歳	藪波	融雪装置をもっと増やしてほしい。雪が降ってもいつまで待っても除雪車がこない。
40～49歳	石動	市街地においても未だに下水道に繋がっていない世帯が多い。全世帯が使用する事で下水道の意味があると思う。
40～49歳	石動	市営住宅を増やしてほしい。

年齢	居住地区	市への意見・要望
40～49歳	石動	土地が高い。
40～49歳	石動	おしゃれな住宅地の整備、リノベーションの増進。
40～49歳	埴生	図書館だけではなく、行政機能やいろいろな施設を駅周辺に持ってきてはどうか。車社会とはいっても鉄道は大事にしていくべきだと思う。
40～49歳	津沢	石動駅南が開通したことは本当に助かっている。踏切を渡らず駅に行ける。かなりの時間短縮になる。
40～49歳	東蟹谷	「メルヘンの街なみ」は今となれば外国人や海外（アメリカ）を経験した人間からすれば海外のなつかしい田舎の風景に見える。でもその稀な資産に地元は気付いていないのが残念でならない。
50～59歳	荒川	リバーサイドに緑豊かなオシャレな公園があると良い！
70歳以上	埴生	駅南の開発が遅れている。車を降りても荒地しか目に入らない。無人駅に降りた感じがする。
70歳以上	子撫	図書館が完成し、前の広場がどうなるのか楽しみに待っている。
40～49歳	松沢	T字路が多いので計画的に道路を作ってほしい。
50～59歳	荒川	早急に桜町から芹川までの4車線化を願っている。
50～59歳	石動	道路整備の不十分（ガタガタ）な所があるので直してほしい。
60～69歳	藪波	人通りが多い金沢～蟹谷・津沢～砺波に抜ける道の周辺を活性化すべき。そうすることで、小矢部市だけでなく、石川県東部、富山県西部全体の活気が戻ると思う。
60～69歳	石動	空家をなくしてほしい。家のない人に貸してほしい。安価で。
60～69歳	正得	砺波市に比べ、道路のアクセスが悪い。
70歳以上	埴生	上下水道料金をもう少し安くしなくてはいけない。同じ水量使用しても下水道使用料として倍も請求するのはどうかと思う。
70歳以上	津沢	下水道、浄化槽設置事業も早く進めてほしい。期待している。
70歳以上	埴生	空き家対策を考えてほしい。空き家を壊して更地にすると税金が高くなる…と耳にする。

5 公共交通について

年齢	居住地区	市への意見・要望
18～19歳	埴生	利用したい時間帯、例えば21時や22時台などに小矢部市営バスがない。高校生以上が利用しにくい。
20～29歳	荒川	免許返納者が交通の便に困っていて地区によっては市営バスをうまく活用できずに買い物手段がないと聞く。子育てはしやすい。
20～29歳	石動	交通が不便、電車とかはすぐには無理だろうから道路の整備をしてほしい。子供を歩かせるのが怖い。
20～29歳	松沢	高齢者が移動に使うための交通網を整備してほしい。
40～49歳	埴生	あいの風鉄道の利用促進をすすめたいのであれば、駅周辺の駐車場料金をもう少し安くしてほしい。1日300円ほど。
40～49歳	津沢	メルバスが利用したい時間に無い為、あいの風を利用したいのに出来ない。もう少し遅い時間まで運行してほしい。
40～49歳	津沢	市営バスのルート見直しを検討してもらえないだろうか。津沢から石動へ行くのに、どうしても1時間もかかる。公共の交通機関の見直しを検討すべきと思う。

年齢	居住地区	市への意見・要望
50～59歳	北蟹谷	市バスの経路ですが、週に一度でも良いので細い裏道にも通るようにしていただければありがたい。
60～69歳	藪波	免許返納した場合の交通手段が不安。高齢者が外出しやすい環境づくりをお願いしたい。
70歳以上	松沢	町中の駐車場が必要。無料で。
70歳以上	水島	高齢者が買い物するにも交通が大変不便で困っている。アウトレットの方にばかり集中しており、津沢方面には何にもない。

6 観光について

年齢	居住地区	市への意見・要望
40～49歳	水島	小矢部市街地の案内板をもっとわかりやすく、はっきりと伝わるものにすると思う。名付けて「おもてなし看板」。街の特徴や小矢部市や企業がコラボしたり、メルギュー君が案内表示しているものがあると面白い。
40～49歳	水島	稲葉山の観光地化と開発・温泉資源を利用したり、アウトレットの顧客を滞在させるための「保養地」としての魅力ある市政を期待する。
60～69歳	石動	県外の方々が稲葉山からの景色、風景に感動している方がいる。施設を充実して、観光をアピールしてはどうか。

7 移住・定住について

年齢	居住地区	市への意見・要望
20～29歳	津沢	他の市から小矢部市に引っ越してきた時の補助的なことは、充実していたのでとてもいいと思うが、小矢部市でアパートに住んでいる人が、小矢部で家を建てたいと思った時に何か補助などあればいいと思う。
20～29歳	若林	小矢部市定住促進助成金について、平成31年度より結婚から3年以内に住宅を取得した場合は上限50万円の助成とあるが、それ以前に住宅を所得した場合との補助金額の差が大きすぎるように感じる。
30～39歳	埴生	医療機関の充実・妊娠、出産、子育てしやすい環境の整備（産婦人科など）。市外から移住してもらうようにするのではなく、いかに小矢部にずっと住んでいる人に何かするとか手立てを考えないと移住も定住もならないと思う。
50～59歳	正得	テレビやネットでみんなに情報がいくようにもっと宣伝しないと人口増加に繋がらない。北陸中央病院横の保育園のことも、移住したら100万もあまり知られてないと思う。
60～69歳	石動	人口増対策として、結婚・出産を期待するよりも他地区からの移住促進を図る。

8 環境、安全・安心について

年齢	居住地区	市への意見・要望
20～29歳	石動	いつまでも富山県や小矢部市を災害の少ないまちであるというアピールを続けてはいけないと思う。近くにはしっかり断層があるので、むしろそのあたりの注意喚起が必要だと思う。
20～29歳	石動	消防の分団の数が多い。合併できる分団は合併しても良いのではないかな。
20～29歳	子撫	アウトレット付近でスピードを出して走っているのが危ないので徐行運転の看板設置をお願いしたい。
30～39歳	埴生	信号、ガードレール、歩行者信号など、子供が安全に登下校できるような設備を整えてほしい。子どもが恐怖を感じた経験をした。
20～29歳	津沢	道路の整備（主に雪の日）が他の市に比べて弱いと感じる。一昨年は大変苦労したので、改善をお願いしたい。
30～39歳	埴生	道中でごみがある。たばこも道に捨ててあった。きれいなまちにして頂けるとありがたいと思う。
30～39歳	津沢	ハザードマップを見ると浸水地域ばかり。ここは、災害は少ないがいざという時の避難場所は本当に安全か疑問。
40～49歳	石動	街灯を増やし夜道を明るくしてほしい。
50～59歳	石動	子供たちや高齢者の安心安全を確保するための地域の仕組みを構築してほしい。
50～59歳	石動	自動車の自動ブレーキ後付けに補助を出してほしい。
50～59歳	子撫	積雪時、場所によっては道路の除雪が非常にガタガタしているところがあるので、できるだけ運転しやすい除雪をお願いしたい。
50～59歳	南谷	小矢部市と高岡市のごみの分別の内容が異なる。例えば使い捨てカイロなど。
60～69歳	松沢	地域の資源ゴミ回収日を増やしてほしい。また、ダンボールや古新聞も回収できるようにしてほしい。
60～69歳	藪波	朝6時に流れるチャイム（曲）もっと元気が出るような明るい曲がいいなと家族で話している。
70歳以上	宮島	小矢部市役所から流れるマイクの声が聞こえづらく外にいても何を言っているのかわからない。

9 行政、協働について

年齢	居住地区	市への意見・要望
20～29歳	若林	車の税金等をコンビニ等で納付できる様にしてほしい。
20～29歳	荒川	残業規制、節電などのコストカットという安易な方向にいかず、いかに職員の生産性を上げるかに焦点を当ててほしいと思う。
30～39歳	石動	マイナンバーカードでの転入手続きが、京都や長野や滋賀に比べ煩雑だった印象がある。もっと手続きを便利にしてほしい。
30～39歳	石動	地方という概念がこれまでとは異なる時代がやってくる。人口減少で財政がきびしい状況はどの自治体も同じだ。小矢部市にどのような新たな価値を見出していくかをこの数年で多角的に吟味して検討を重ねていくことが大切だと思う。前例踏襲ではなく、若い人材の意見を大切にしていってほしい。
40～49歳	松沢	借金はなるべくしないしてほしい。あと無理に背伸びしないほしい。

年齢	居住地区	市への意見・要望
40～49歳	南谷	限られた財源の中で市民のサービスの維持、向上をはかり、暮らしやすい小矢部市を発信して行ってほしい。
40～49歳	津沢	市役所やこども課での手続き時の待ち時間が長い。
70歳以上	松沢	小矢部市のホームページ等で、本日はどこでどんな行事をしているのか掲示板のようなもので簡単にちょっと見られたら良いと思う。
70歳以上	若林	地域コミュニティを引続き大切にしてほしい。

10 子育て・教育、少子化対策について

年齢	居住地区	市への意見・要望
20～29歳	埴生	支援センター等、子育て支援にとっても助けられているので、これからも継続してほしい。
30～39歳	石動	支援センターがいろいろあるのはよいところではあるが、ただ遊ばせたり相談（話を聞いてもらうだけ）ではなく、子育てや子どもとの関わり方について教え（指導）てくれるような環境があると嬉しい。病児保育等一時保育が可能な所はあるのだが、当日急に言っても預けられる場があると大変助かる。
30～39歳	石動	小学校の英語科教員の充実。
30～39歳	藪波	中学校の統合を早くしてほしい。
30～39歳	荒川	のんびりとしたまちの雰囲気の中で、こども園が新設され少しずつニーズに応じて新しくなっていることが嬉しい。
40～49歳	石動	子供の福祉医療費の助成を高校生にまで拡充してほしい。
40～49歳	松沢	子育て支援が充実していて子育て世代にとってもやさしいと思う。
40～49歳	石動	出産してから保育園の子を持つ親のフォローの充実。話せる人、場所があればいいと思う。
40～49歳	北蟹谷	近隣都市との連携をして教育を充実させてほしい。
40～49歳	津沢	保育所の統合より、中学校の統合を先にしてほしかったというのが正直なところだ。
40～49歳	松沢	学校の雨漏りの修繕や改修他に力を入れてほしい。
50～59歳	石動	子どもの側に立った施策を。子どもの遊び場や夏場のプールなどに、もっと財源を用いて欲しい。
50～59歳	北蟹谷	若い世代が結婚して子供を増やす魅力あるまちになってほしい。
60～69歳	津沢	何事においても若者が小矢部市に魅力を感じ、定着率の向上に努力していただきたい。たとえば高校の充実で小矢部市外の流出防止。
60～69歳	石動	教育の充実と小中学校の統廃合で空いた施設の活用（スポーツ施設等）により子育てに魅力ある小矢部市にしてほしい。

11 生涯学習、スポーツ、歴史・芸術文化について

年齢	居住地区	市への意見・要望
20～29歳	正得	競技場で小矢部駅伝をするくらいならしないほうがいい。小矢部の町中を走るから意味があると思う。
30～39歳	埴生	ホッケー以外のスポーツが出来る施設、環境をもっと作ってほしい。

年齢	居住地区	市への意見・要望
30～39歳	北蟹谷	広い体育館と広い駐車場のある体育館を建築してほしい。
40～49歳	埴生	富山県でホッケーをやっているのは小矢部市だけなのだから。この小矢部市の強みであるホッケーを、小矢部市としてもっとアピールするべきだと思う。
40～49歳	津沢	おとぎの館の子供用の図書館をやめるのは一方的だと思う。クロスランドへ遊びに来て図書館で本を借りることを楽しみにしている幼児がたくさんいる。アートハウスの取組みはとても良いと思う。市民に芸術の場を提供していて、今後に期待している。
50～59歳	石動	新しくできる図書館を楽しみにしている。たくさん本、新しい本を揃えていただければありがたい。
50～59歳	正得	コンサートや芸術などの展示、イベントなどをもっと企画してほしい。
60～69歳	埴生	歴史ある文化の街を前面に押し出したものをアピールしてほしい。
60～69歳	松沢	城下町であった石動（小矢部市）の歴史を語るわかりやすい紙芝居や絵本の製作活動があれば参加したいと思う。

12 地域医療、福祉について

年齢	居住地区	市への意見・要望
20～29歳	石動	障がい者に対する差別がなく、障がい者でも学習、労働がしやすい環境を早急に作ってほしい。
20～29歳	水島	大河ドラマの誘致に力を入れるくらいなら、もっと福祉の為に金を使う方がいい。
30～39歳	松沢	発達支援がうけられる場所が小矢部にあるといい。「高岡のきずな」まで通っているとき大変でした。
30～39歳	若林	小矢部市内に産婦人科をおいてほしい。まだ子どもはいませんが小矢部で子供が産めるようにしてほしい。
30～39歳	荒川	小児科・耳鼻科が少ないので病院を増やしてほしい。
30～39歳	松沢	来月、出産を予定しているが、里帰り出産のための県外医療機関への経済的な通院負担が、大きいように思う。
40～49歳	北蟹谷	近隣都市との連携をして医療を充実させてほしい。
50～59歳	石動	医療体制の充実は必須である。
50～59歳	荒川	高齢者が住みやすい環境になってくれればありがたい。
60～69歳	松沢	介護タクシーを予約しなくても、即対応できるようにならないのか。公衆浴場の利用券はとも有りありがたいが、付き添い必要な高齢者は一人では無理なので、介護者の割引券など付いていれば、もっと気軽に利用できると思う。

Ⅱ. 次の評価事項について、小矢部市政の「現在の満足度」と「今後の重要度」についてお尋ねします。

問2 小矢部市では6つのまちづくりの基本目標ごとに「政策」を設定して総合計画を推進しています。以下の項目それぞれについて、右の欄の1～5の中からあなたの「満足度」に最も近いものを1つ選んで○を付けてください。

＜まちづくりの基本目標1 魅力あふれる産業と経済活力のみなぎるまち＞

番号	政策	主な施策	現在の満足度				
			高い	やや高い	どちらともいえない	やや低い	低い
1	農業・農村の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・農村環境保全の推進 ・農業経営の安定化 ・付加価値を高める農林水産業の推進 ・農業農村基盤の整備 ・地産地消の推進 	1	2	3	4	5
2	商工業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・市内商工業の活性化 ・地場産業の育成 ・買い物弱者*対策の推進 ・経営改善の支援 	1	2	3	4	5
3	地域ブランドの振興	<ul style="list-style-type: none"> ・小矢部ブランドの活用拡大 ・稲葉山牧野の経営安定化 	1	2	3	4	5
4	中心市街地の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・都市機能の誘導 ・誘客による賑わい創出 ・まちなか定住の促進 ・石動駅北エリア整備の促進 	1	2	3	4	5
5	企業立地の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・誘致基盤の整備 ・誘致活動の推進 ・企業立地支援制度の充実 ・創業者支援の推進 	1	2	3	4	5
6	雇用の安定	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用環境の向上 ・雇用の促進、就労への支援 ・勤労者福祉の向上 	1	2	3	4	5

問2-1 上記の政策 1～6のうち、今後「重要度」が高いと思うものを1つだけ選んで番号を記入してください。 (右の枠内に番号を記入してください。)	答2-1
--	------

*買い物弱者：地元小売業の廃業や既存商店街の衰退、交通網の弱体化などの理由により、食料品などの日常の買物が困難な状態に置かれている人のこと。

＜まちづくりの基本目標2 人をよびこむ都市空間と多彩な交流でにぎわうまち＞

番号	政策	主な施策	現在の満足度				
			高い	やや高い	どちらともいえない	やや低い	低い
7	魅力ある市街地等の形成	<ul style="list-style-type: none"> 市街地整備の推進 美しい景観の創出 都市機能を支える都市軸の形成 総合的な土地利用施策の推進 	1	2	3	4	5
8	道路ネットワークの充実	<ul style="list-style-type: none"> 高規格道路、国道及び県道等の整備促進 市道の整備推進 	1	2	3	4	5
9	上下水道の整備	<ul style="list-style-type: none"> 安定した水道水の供給 下水道事業・浄化槽設置事業の計画的な推進 	1	2	3	4	5
10	公園・緑地の充実	<ul style="list-style-type: none"> 親しみのある公園づくりの推進 公園・緑地の整備・管理の充実 	1	2	3	4	5
11	住宅・宅地の充実	<ul style="list-style-type: none"> 住宅施策の充実 良好な住環境づくり 市営賃貸住宅の充実 	1	2	3	4	5
12	交通体系の充実	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道利用の利便性の向上 市営バス等運行体制の維持・充実 その他の交通サービスの充実 	1	2	3	4	5
13	地域情報化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 情報ネットワーク基盤の整備 情報ネットワークの活用 ケーブルテレビ*事業の推進 	1	2	3	4	5
14	観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> 観光資源の整備・活用 観光受入態勢の充実 観光誘客・PRの充実 	1	2	3	4	5
15	地域間・国際交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域間交流の促進 国際交流の推進 多文化共生の推進 	1	2	3	4	5
16	移住・定住の促進	<ul style="list-style-type: none"> U I J ターン*の促進 地域における受入体制の確立 おやべ暮らしの魅力発信と情報提供 地域おこし協力隊の受入推進 	1	2	3	4	5

問2-2 上記の政策 7～16 のうち、今後「重要度」が高いと思うものを1つだけ選んで番号を記入してください。
(右の枠内に番号を記入してください。)

答2-2

*ケーブルテレビ：有線テレビ放送（CATV）のこと。多チャンネル・双方向機能を有し、自主放送やインターネット接続などのサービス提供が可能である。

*U I J ターン：大都市圏の居住者が地方に移住する動きの総称のこと。Uターンは出身地に戻る形態、Iターンは出身地以外の地方へ移住する形態、Jターンは出身地の近くの地方都市に移住する形態を指す。

〈まちづくりの基本目標3 未来にやさしい環境と安全安心に暮らせるまち〉

番号	政策	主な施策	現在の満足度				
			高い	やや高い	どちらともいえない	やや低い	低い
17	地球温暖化防止活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の保全 ・温室効果ガス*排出量の削減 ・エネルギーの有効活用 	1	2	3	4	5
18	豊かな森の保全・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・森林資源の適正な管理 ・森林資源の育成・活用 ・治山対策 ・生態系の保護 	1	2	3	4	5
19	雪に強いまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・道路除排雪の充実 ・消雪施設の整備 ・地域ぐるみの除排雪体制の充実 	1	2	3	4	5
20	生活環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの収集・処理体制の充実 ・循環型まちづくり*の推進 ・環境衛生と美化推進 ・公害の防止対策の推進 	1	2	3	4	5
21	防災・危機管理体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・防災体制の充実 ・防災施設の充実 ・災害に強いまちづくり ・危機管理体制の充実 	1	2	3	4	5
22	消防・救急体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・消防・救急関連施設・設備の充実 ・消防力の充実・強化 ・火災予防の推進 ・救急・救命体制の強化 	1	2	3	4	5
23	交通安全対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全活動の充実 ・交通安全施設の充実 	1	2	3	4	5
24	犯罪をおこさせないまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・安全なまちづくり推進センターの充実 ・防犯意識の高揚 ・犯罪の防止 ・消費生活の安全の確保 	1	2	3	4	5

問2-3 上記の政策 17～24のうち、今後「重要度」が高いと思うものを1つだけ選んで番号を記入してください。 (右の枠内に番号を記入してください。)	答2-3
--	------

*温室効果ガス：大気圏にあって、地表から放射された赤外線の一部を吸収することにより、温室効果をもたらす気体の総称。対流圏オゾン、二酸化炭素、メタンなどが該当する。近年、大気中の濃度を増しているものもあり、地球温暖化の主な原因とされている。
*循環型まちづくり：大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会に代わり、製品の再生利用や再資源化などを進めて新たな資源投入を抑え、廃棄物ゼロを目指すまちづくり。

＜まちづくりの基本目標 4 市民と行政が協働して自治体経営を支えるまち＞

番号	政策	主な施策	現在の満足度				
			高い	やや高い	どちらともいえない	やや低い	低い
25	市民と行政との協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市政への参画機会の拡大 ・ 市民活動の促進 ・ 協働を推進する環境の整備 ・ コミュニティ活動の促進 	1	2	3	4	5
26	男女共同参画社会の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女平等意識啓発の推進 ・ 男女共同参画推進体制の充実 ・ ワーク・ライフ・バランス*の推進 	1	2	3	4	5
27	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人権教育・啓発の推進 ・ 相談体制の充実 ・ 人権擁護対策の強化 	1	2	3	4	5
28	開かれた市政の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報・広聴の充実 ・ 情報公開の推進 	1	2	3	4	5
29	持続可能な自治体経営の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民サービスの向上 ・ 効率的かつ透明性のある行財政経営の推進 ・ 職員の資質向上と組織の活性化 ・ 広域行政・事業連携の推進 ・ 納税環境の充実 ・ 公共施設等の適正な配置と効率的な維持管理の実施 	1	2	3	4	5

問2-4 上記の政策 25～29のうち、今後「重要度」が高いと思うものを1つだけ選んで番号を記入してください。 (右の枠内に番号を記入してください。)	答2-4
--	------

*ワーク・ライフ・バランス：やりがいのある仕事と充実した私生活を両立させるという考え方。仕事と生活の調和。

くまちづくりの基本目標5 人をすこやかにはぐくむ教育と歴史文化がいきづくまち>

番号	政策	主な施策	現在の満足度				
			高い	やや高い	どちらともいえない	やや低い	低い
30	学校教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力を育む教育の推進 ・健やかな心身を育む教育の推進 ・多様なニーズに応える教職員の育成 ・安全安心な学校づくりと学校教育環境の整備 ・小中学校規模適正化の検討と対応 ・高等学校との連携推進 	1	2	3	4	5
31	青少年の健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ・健全な育成環境の整備 ・青少年活動の充実 ・家庭教育の拡充 	1	2	3	4	5
32	生涯にわたる学習活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進体制の充実 ・公民館を拠点とした地域の学習活動の充実 ・生涯学習活動内容の充実 ・生涯学習環境の充実 	1	2	3	4	5
33	生涯スポーツの促進	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツ活動の充実 ・生涯スポーツ施設の充実 ・指導者の育成と指導体制の充実 	1	2	3	4	5
34	芸術・文化の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術・文化活動の促進 ・文化施設の適切な管理運営と利用促進 ・文化施設の計画的な改修 	1	2	3	4	5
35	歴史遺産・文化財の保存と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財等の理解・関心を高めるための活用策の推進 ・文化財や伝統文化等の継承への支援 ・桜町遺跡*の活用推進 	1	2	3	4	5

問2-5 上記の政策 30～35のうち、今後「重要度」が高いと思うものを1つだけ選んで番号を記入してください。
(右の枠内に番号を記入してください。)

答2-5

*桜町遺跡：縄文時代の高床建物を証明する建築部材など次々と新しい発見をもたらし、従来の縄文観をくつがえす遺跡として全国レベルの高い評価を受けている。
*地域包括ケアシステム：高齢者や障害者が、住み慣れた地域で、安心して自分らしい生活を送れるように医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加、地域の助け合い、教育が包括的に確保された社会システムのこと。

＜まちづくりの基本目標6 心がやすらぐ健康とあたたかな福祉で支え合うまち＞

番号	政策	主な施策	現在の満足度				
			高い	やや高い	どちらともいえない	やや低い	低い
36	地域医療体制の充実と健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療の充実 ・救急医療体制の充実 ・健康管理体制の強化 ・各世代に応じた健康増進事業の充実 ・心の健康づくりの推進 ・健康づくり活動の推進 	1	2	3	4	5
37	社会保障の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度の適正かつ安定的な運営 ・国民健康保険制度の適正かつ安定的な運営 ・後期高齢者医療制度の適正かつ安定的な運営 ・国民年金制度の普及・啓発 ・生活支援制度の充実と自立の助長 	1	2	3	4	5
38	地域ぐるみ福祉の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「福祉の心」の醸成 ・地域福祉活動の促進 ・福祉ボランティア活動の促進 ・福祉のまちづくりの推進 	1	2	3	4	5
39	結婚支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚活動への支援 ・結婚新生活への支援 	1	2	3	4	5
40	妊娠・出産・子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠・出産への支援 ・子育て支援の充実 ・ひとり親家庭等への支援 ・子どもの権利の擁護 	1	2	3	4	5
41	就学前教育・保育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教育・保育の質の向上 ・保護者の多様なニーズへの対応 	1	2	3	4	5
42	障害者及び障害児福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の早期発見と対応の充実 ・障害のある人の権利擁護 ・障害者福祉サービスの提供基盤の整備充実 ・自立と社会参加の促進 ・障害者福祉の総合的な取組の推進 	1	2	3	4	5
43	高齢者福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・超高齢社会への対応 ・生きがい対策の充実 ・高齢者組織への支援 ・地域包括ケアシステム*の推進 ・施設サービスの充実 	1	2	3	4	5

問2-6 上記の政策 36～43のうち、今後「重要度」が高いと思うものを1つだけ選んで番号を記入してください。
(右の枠内に番号を記入してください。)

答2-6

問 2-7 小矢部市に対する総合的な満足度を選んでください。	現在の満足度				
	高い	やや 高い	どちら ともい えない	やや 低い	低い
	1	2	3	4	5

Ⅲ. 市への意見・要望など自由に記入してください。

ご協力ありがとうございました。